

鹿児島県  
総合  
防災訓練

災害時に迅速・効果的に対応できる  
災害VCを目指して



# 災害ボランティアセンター 設置・運用訓練

桜島の爆発、地震並びに大雨による家屋倒壊や崖崩れ等の発生を想定した鹿児島県総合防災訓練が、5月26日、雨の中、垂水市中央運動公園を中心に開催されました。鹿児島県社会福祉協議会は、垂水市をはじめ近隣の社会福祉協議会と協力して、災害時のボランティア活動を迅速かつ効果的に展開し、被災者を支援できるよう「災害ボランティアセンター設置・運用訓練」を実施しました。

## 垂水市や大隅地区から多数参加

雨のため、垂水市立体育館内での活動になりました。運営を担う社会福祉協議会からは大隅地区を中心に9市町の職員40名、また地区内のボランティア団体や行政職員、垂水市内の民生委員や公民館関係者など約70名が仮想ボランティア役や仮想避難者役として参加し、訓練が行われました。参加者たちは、初めての経験に戸惑いながらも分からないことを一つ一つ確認し合い真剣に取り組んでいました。



## 仮想避難所での支援訓練

ボランティア活動は、相手との信頼関係が土台となります。そのためには、相手の心情をよく理解した上での活動が必要です。当日の訓練では、仮想避難者は高齢者や妊婦、障がい者を想定したものでしたが、その方々に応じた、思いやりのある支援ができました。



## 災害ボランティアセンター運用の流れ

